

環境研究総合推進費

特別枠要望「グリーン・イノベーション促進特別研究」

コンセプト

- () 分野横断的な研究開発の強化
- () 研究成果を社会に「適用」し、社会の変革を加速

以下の5つの研究を強化・推進

気候変動への適応を含めた生物多様性確保のための研究【3億円】

(概要)

本年10月に名古屋で開催される国連地球生きもの会議(生物多様性条約第10回締約国会議)で決定される「ポスト2010年目標」の達成に向け、アジア規模での生物多様性の観測・評価・予測の研究を実施



サンゴの白化

低炭素社会早期達成特別研究【5億円】

(概要)

低炭素社会早期達成により温暖化中・長期目標の達成を確実にするため、低炭素地域づくり、ものづくりの低炭素化等の社会システムの具体像、政策手段等を提示する研究。

(研究例)

- ・低炭素社会への転換シナリオの研究
- ・個別技術を統合・最適化した低炭素社会システムの提案
- ・歩いて暮らせるコンパクトシティの実現方策の研究



コンパクトシティ(イメージ)
(出典:旧地球環境研究総合推進費)

環境研究総合推進費

特別枠要望「グリーン・イノベーション促進特別研究」

領域横断研究【3億円】

(概要)

温暖化対策と廃棄物対策に同時に寄与する等相乗的な効果が期待できる技術開発や、複数の領域にまたがる環境問題の解決のための研究

(具体例)

・温暖化対策製品(太陽光パネル、LED等)の3R 技術開発

3R: 廃棄物の発生抑制 (Reduce)
資源や製品の再利用 (Reuse)
再生利用 (Recycle)



爆発的な普及が進む太陽光電池

地域連携領域研究【2億円】

(概要)

地域の実情に精通しているが、新しい環境問題への対応が遅れている地方環境研究機関や地方大学と国が連携して取り組む研究

(具体例)

・地域レベルでの温暖化適応策
・生態系や生物多様性保全の具体化



絶滅が危惧されるライチョウ

日系静脈産業メジャーの海外展開に資する次世代廃棄物処理技術開発【14.62億円】

(概要)

廃棄物処理・リサイクル産業などの静脈産業による海外展開に資する、途上国でも利用可能な、廃棄物処理・リサイクルシステムにおける熱利用の推進、収集から処分までの温室効果ガスの最小化、低コスト化・高度化等技術実証

(具体例)

・ごみ焼却施設の未利用低温廃熱からのエネルギー回収
・混合収集ごみの機械選別によるリサイクルやバイオガス化の推進
・焼却施設の高機能な排ガス処理システムの機能を維持したまま低コスト化



環境研究総合推進費のこれまでの研究実績

これまでの実績(例)

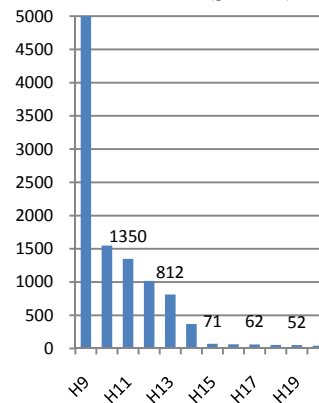
地球温暖化による我が国への影響・被害コストを推計

今世紀末には被害額が最大で毎年17兆円増加する可能性があることを明らかにした

高潮による被害の増加
(気象庁提供)



一般廃棄物処理施設の排ガス中のダイオキシン類排出量
(g-TEQ/年)



廃棄物焼却施設におけるダイオキシン類の発生メカニズム解明、削減技術の確立

ダイオキシン類の排出量をH20年にはH9年比99%削減

希少植物であるサクラソウの保護・増殖技術を開発

→絶滅危惧 類から準絶滅危惧種へと絶滅リスクが低くなった



希少植物のサクラソウ



プラズマテレビのリサイクル工程

プラズマテレビ用ディスプレイのリサイクル技術・システムの開発

→プラズマ式テレビのリサイクルを実現、同時に貴金属(銀)を回収

環境研究総合推進費の概要

性格

環境政策貢献型の競争的研究資金

競争的研究資金とは、 研究開発課題の公募、 研究者による応募、 外部専門家による評価、 合否判定、 を経て採択されるもの

対象分野

脱温暖化社会の形成

温暖化の影響予測、 予測される影響への適応策、 低炭素社会システムづくり、 オゾン層保護対策 等

循環型社会の形成

最先端の廃棄物の3R・熱回収・適正処理の技術、 システムの開発、 実証 等

自然共生型社会の形成

生態系の保全と再生、 生物多様性の確保、 外来種対策、 熱帯林の減少・砂漠化への対策 等

安全・安心な社会の形成

国内外の大気汚染、 水質汚濁、 土壌汚染、 越境汚染等への対策
化学物質による健康リスク・生態リスクへに関する対策 等

全領域共通分野

- の分野をまたがる環境、 経済および社会の統合的政策研究 等